



日本食品分析センター 450 農薬検査済み

登録番号：2024-1013-0521

玄米

EM栽培米 残留農薬 0 の米



生産/販売
農業生産法人
(有)太陽商会
岩手県花巻市石鳥谷町五大堂
第6地割1番地13

<https://taiyou.iwate-compost.co.jp/>
E-mail : info@iwate-compost.co.jp
TEL 0198-47-2057
FAX 0198-47-2174

ご存知でしょうか？SDGsを。これは、貧困・飢餓の撲滅などを目指す国連の「持続可能な開発目標」について2030年までの人間、地球及び繁栄のための行動計画として先進国と途上国が共に取り組む普遍的な平和を追求する17の目標が設定され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。その2番目に「持続可能な農業の促進」を掲げています。

実はこれらの目標は、宮沢賢治が「農民芸術概論綱要」（序論）に綴っている「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という一節そのものではないでしょうか。

この精神が今も尚色濃く残るここ岩手県花巻市で栽培されている「EM栽培米残留農薬0の米」は、有機質肥料の使用や環境保全に特化した原点回帰の農業に取り組み生まれたお米【花巻オリザ】※です。世界中の誰もが幸福で安心安全なお米を食べられる世の中であって欲しい、そんな思いがあるからこそ、このお米の価値が認められるのです。

※【花巻オリザ】は宮沢賢治の故郷で育まれているお米のブランドイメージです。「オリザ」とは稲の学名（ラテン語 Oryza）。宮沢賢治の作品の中にも引用されています。

EM栽培米とは？

EM（有用微生物群）を使用することで、土本来の力が最大限に引き出されます。また、水田にはオタマジャクシやヤゴなど多種多様な生物が生息できるようになります。そんな多くの生命に育まれたEM栽培米は、白艶のある光沢感やほのかな香りに包まれたふっくらとした食感のお米です。

残留農薬について

原則、全ての農薬等について残留基準を設定した「ポジティブリスト制度」が、2006年5月29日に施行され、これまでに残留基準のなかったものも含め設定されました。その多くは一律基準0.01ppmが定められ食品衛生法に基づき規制されています。私どもは、お米の栽培・生産管理としてこの制度に対応した450農薬の自主検査を毎年行い、文字通り「残留農薬ゼロ」の状態を保持している類い稀なお米です。



有機質肥料（コスモグリーン）を施肥したEM栽培米の凄さの一例根付きのボリューム、株の太さなど断然優れていることが分かります。

（右写真）

玄米による腐敗試験では、腐敗すること無く刺激臭も一切ありません。（左写真）